

ムーシールドによる反対咬合の早期初期治療 筋機能訓練装置

CONTENTS

献辞	3
はじめに	4
ラフスケッチ	6
Chapter 1	
反対咬合の社会的な位置づけ	10
Chapter 2	
不正咬合の原因とその治療	18
Chapter 3	
筋機能訓練装置	34
Chapter 4	
ムーシールドの構造、造り方	40
Chapter 5	
初期治療の適応症・非適応症	52
Chapter 6	
ムーシールドの使用法	58
Chapter 7	
反対咬合治療のガイドライン —早期初期治療の重要性—	62

ケースプレゼンテーション

総論	66
Case 1 治療開始：5歳4ヵ月	84
Case 2 治療開始：5歳1ヵ月	92
Case 3 治療開始：10歳4ヵ月	100
Case 4 治療開始：8歳7ヵ月	105
Case 5 治療開始：3歳2ヵ月	108
Case 6 治療開始：6歳5ヵ月	110
Case 7 治療開始：5歳8ヵ月	113
Case 8 治療開始：3歳0ヵ月	116
Case 9 難症例・注意が必要な症例 ラテラルクロスバイト	118
Case 10 難症例・注意が必要な症例 骨格性反対咬合+下顎前歯の叢生	120